

第3表 運動エネルギー 10^{25} エルグ以上の台風

台風名	年月日	中心示度	半径(度)	運動のエネルギー	死者行方不明	全壊流失家屋
室戸	1934. 9. 21	912mb	10	3.5×10^{25} エルグ	3036人	43048棟
枕崎	1945. 9. 17	917	7	2.0 //	2076	60826
ルース	1951. 10. 15	940	9.3	2.0 //	943	24705
伊勢湾	1959. 9. 26	929	8	1.8 //	5159	36109
13号	1953. 9. 25	930	8	1.8 //	478	8604
洞爺丸	1954. 9. 26	960	9	1.5 //	1761	8396
狩野川	1958. 9. 26	950	8	1.4 //	1269	2118
カスリン	1949. 9. 16	960	8	1.2 //	2360	9298
第二室戸	1961. 9. 16	931	8.5	2.2 //	200	13828

倒壊し、物件の飛散によるもので、家屋の倒壊は鹿児島
大阪、和歌山、新潟県が特に多かった。田畑の流失、冠
水は徳島、愛知県が多く山岳地帯に多量の雨が降り河川
の氾濫により起因したものである。

参考文献

- 1) 気象庁, 昭36. 9. 22: 第2室戸台風概報
- 2) 大阪管区気象台, 昭36. 9. 21: 大阪管区時報
- 3) 高橋浩一郎, 応用気象論 p136 台風のエネルギーと被害

理化学研究所・1961年度学術講演会開催のお知らせ

理化学研究所では、下記要領で本年度の学術講演会を
開催し、研究業績を発表します。ご案内申し上げます。

記

主催 理化学研究所
日時 12月5日(火)～7日(木) 午前9時半より
会場 学会館(2階)

都電: 一ツ橋または神保町
国電: 水道橋

関連のある講演としては次のようなプログラムが組ん
であります。

- (1) 12月5日, 7日 C会場
- (2) 午前9時頃からそれぞれ宇宙線, 放射線測定およ
び海洋物理の講演が行なわれます。

例会のお知らせ

11月の例会

第6回気象電気シンポジウム

会期: 昭和36年12月11日(月) 午前10時より
会場: 理科大学(国電飯田橋新宿寄り出口下車徒歩5分)

I 総合報告(午前)

1. 北川信一郎(気象研) 電光放電機構についての最
近の研究結果(40分)
2. 川野実(電気試) 自然放射能研究の近況(40分)

II 研究発表(午後)

1. 竹内利雄, 高木増美(名大, 空電研) 雷放電の多

点観測の結果について(15分)

2. 三崎方郎, 金沢五寿雄(気象研) 大気イオンのモ
ビリティスペクトラム(20分)
3. 内川規一(気象庁) 1961年10月 WMI に於ける
ラジオゾンデによる電気伝導率測定の異常につい
て(15分)
4. 近藤五郎(地磁気) 1961年9月以降の核爆発の気
象電気現象への影響(10分)